

三重県における産業教育

平成28年1月8日(金)
三重県教育委員会

本日の内容

I はじめに

本県における専門学科の設置状況

II 産業教育WGにおける検討事項

- 1 職業に関する各教科を通じて育成すべき資質・能力について
- 2 これまでの実験・実習などの実践的、体験的な学習活動の成果やA Lの三つの視点を踏まえた、資質・能力の育成のために重視すべき指導等の改善・充実のあり方について
- 3 国家資格や各種検定、研究発表会や競技会等の活用を含めた、資質・能力の育成のために重視すべき評価の在り方について

I はじめに

本県における専門学科の設置状況

○ 普通科・**専門学科**・総合学科＝6:3:1

○ **8つの学科**

農業	5校
工業	10校
商業	8校
水産	1校
家庭	6校
看護	1校
情報	1校
福祉	3校



II 産業教育WGにおける検討事項

1 職業に関する各教科を通じて育成すべき資質・能力

「力」と「志」を持った職業人の育成

(1) 専門性を育む教育の視点

- 職業に関する専門的な知識や技術などの職業生活に必要な力(=「専門性」)の確実な定着
- どのような変化にも対応できる「自ら学ぶ力」、「広い視野や遵法精神」、「創造力」の育成

(2) 「志」を育む教育の視点

- 職業を通じた自己実現と社会をより豊かにしようとする「志」の育成
- 将来の職業や人生について考え、自分自身を深く見つめる力の育成

(3) 職業教育の特色を活かした改善・充実の方向

- ① 実学の重視
- ② 挑戦する心の育成
- ③ 地域との協働
- ④ 人間性豊かな職業人の育成

1 職業に関する各教科を通じて育成すべき資質・能力

1 県立相可高校の取組(家庭学科)

- ① 実学の重視
- ② 挑戦する心の育成
- ③ 地域との協働
- ④ 人間性豊かな職業人の育成

<これまでの経緯>

- H6～H13 学科改編～試行錯誤
- H14 多気町・県とのかかわり
- H16～H18 目指せスペシャリスト指定校
(文部科学省事業)
- H19～H24 目指せスペシャリストの後
- H25 食物調理科20年

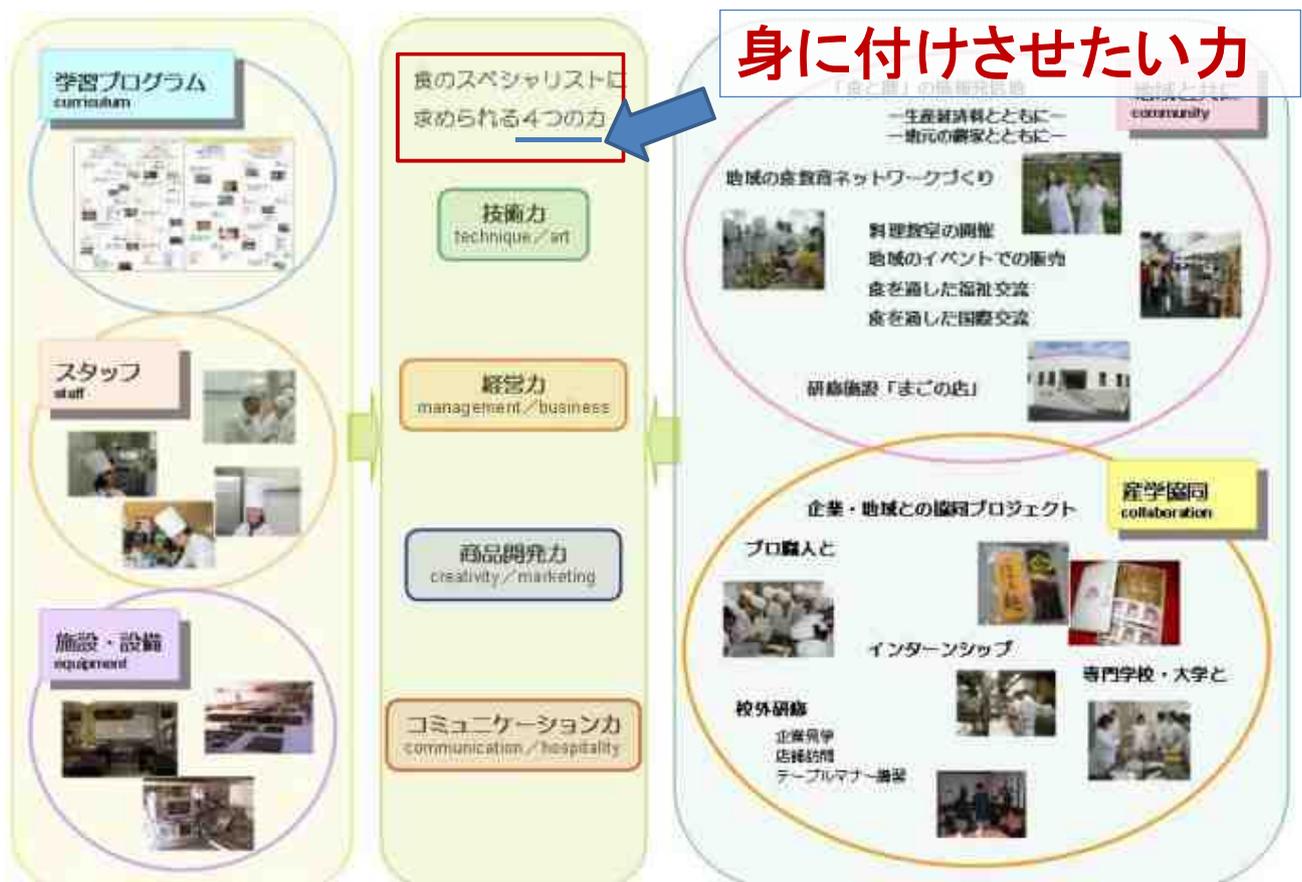
調理クラブと多気町との連携開始



「まごの店」運営開始



H16～H18 「目指せスペシャリスト」研究指定



H17 「まごの店」「まごの店スイーツ」



H20 卒業生が運営する「せんぱいの店」



H23 「調理実習棟・製菓実習室」完成



多目的ホール

II 産業教育WGにおける検討事項

1 職業に関する各教科を通じて育成すべき資質・能力

2 三重県教育委員会の取組

若き『匠』育成プロジェクト(Mie SPH)

高度な資格取得や競技会への挑戦、地域との協働・学科間連携など

〈四日市農芸高校の取組〉

造園業界と連携した若手職人の育成
～造園科生徒の技能五輪への挑戦～

- ① 技能五輪全国大会への出場と入賞を目標
- ② 2級技能士の取得と造園関連分野への就職
- ③ 教員対象の技術講習会
- ④ 地域の中学校等における環境整備活動



II 産業教育WGにおける検討事項

1 職業に関する各教科を通じて育成すべき資質・能力

今後の方向性

少子高齢化、グローバル化が進展する社会

キーワード ⇒ 「挑戦」「交流」「進化」

「挑戦」・・・将来のスペシャリスト

世界へ飛躍

「交流」・・・地域の活性化に貢献

学科の枠を越えた連携

「進化」・・・新たな価値を創造

「挑戦！」 「ワールドオブフレイバー(WOF)」への参加



「挑戦！」 「ミラノ国際博覧会」参加



産業現場等での実習

1 県立桑名工業高校の取組(工業学科)

日本版「デュアルシステム」

商工会議所、企業、学校が連携・協力して
地域産業を担う人材を育成



プロジェクト学習

2 県立相可高校の取組(農業学科)

NPO法人「植える美ing」(平成18年設立)

- 園芸ボランティア活動の実施
- 地元企業と県産品を使ったシリーズ化粧品
「まごころ」を
平成22年から
共同開発



H27『ものづくり日本大賞』受賞

3 職業に関する各教科における学習評価

多様な学習成果の評価

○ 県立宇治山田商業高校の取組(商業学科)

ルーブリック(評価基準表)を用いた評価

「ビジネスの現場で求められる資質や能力を高める」

○ 探究活動や発表などをどのように評価するかを研究

<具体的な取組>

- ① 各科目において、3年間で生徒に身に付けさせたい力のルーブリック(評価基準表)を作成し、教科間で共有
- ② 各単元のパフォーマンス課題の設定とルーブリック(評価基準表)の作成

3 職業に関する各教科における学習評価

多様な学習成果の評価

ルーブリック(評価基準表)を用いた評価

<成果>

- 学習の目的と生徒に身に付けさせたい力の明確化
- 生徒の学習意欲が向上
- 思考力・表現力を高める授業へと変化(授業改善)

<課題>

- 有効なパフォーマンス課題の作成
- ルーブリック(評価基準表)の質の向上
- 他学科、他校への研究成果の普及と拡大

- ① 教員の養成・採用・研修
 - 高度な技術を有した教員の退職
 - 若手教員の指導力の育成
- ② 地域との協働
 - 自治体、企業、商工会議所等との連携
- ③ 施設・設備の整備